

「SDGsと教育活動」

白糠小学校 校長 滝川 敦善

新型コロナウイルスの感染者数も減少傾向との報道がなされていますが、第6波に備え、引きつづき対策を講じているところです。このような中、6年生の修学旅行を、11月10日～11日の日程で実施しました。施設ごとの消毒や黙食など感染予防の対策を講じる中、仲間と楽しみながら白糠とは違う自然や特色ある観光、産業に触れることができた修学旅行となりました。

旅程1日目、流氷ガラス館での一コマ。職員からの「みなさん、SDGsを知っていますか？」の問いから、この施設が大切にしていることや、ガラス制作と環境保全との結びつきについて学習がスタートしました。本施設で使われているガラスの素材は廃棄された蛍光灯であること、施設内の暖房はガラスを溶かす熱を再利用していることなど、作る側の責任を果たす取り組みを紹介していただきました。子ども達は、自分たちが制作したガラスの作品が、リサイクルや環境問題と結びついていることを学んだ活動となりました。



ガラス作りを学ぶ子ども達

SDGs(持続可能な開発目標)は、「地球上の誰一人として取り残さない」という誓いのもと国連が決議した17つの目標です。世界規模の課題である飢餓、気候変動、環境破壊、エネルギーや産業問題、ジェンダー平等など、17の解決すべき大切な課題です。後から知ったのですが、11月はSDGsの集中月間だったそうで、テレビを見ていると、下のカラフルなパネルがどの局でも連日紹介されていたので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。



過日行われたPTA

子育て講座では、SDGsを切り口に私のアフリカでの経験を紹介させていただきました。世界での貧困や差別、国際感覚、家族、ふるさと、多様性…などの視点で感想をいただいたり、「…SDGsの話聞いて、自分にも子ども達にも何ができるのかをもう一度考えるきっかけにしたいと思いました。」との声もいただいたりしました。



SDGsは、2030年を目標に多くの職場で取り組まれています。安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる白糠町も、この理念に合致した施策を進めています。もちろん、学校教育の中でもこの取り組みは強く求められています。私も全校朝会などで、身近なことから実践できるSDGsのことや、「ごみの分別」や「節電・節水」、「あいさつ運動」や「友達に対する思いやり」など、私達の生活の中でもSDGsを意識した行動がたくさんあることを伝えていこうと思います。

また、12月には、4年生を対象に国際協力機構(JICA)職員による「世界のことを自分のこととして考えてみよう」の授業を行う予定です。SDGsの7(エネルギー問題)や13(気候変動)について映像を交えて話していただく学習を通して、自分の行動と世界的な課題が密接に結びついていることを学んでほしいと願っています。

月日	曜日	日課表	生活	12月行事
1	水			全校朝会 安全点検日 スクールカウンセラー来校
2	木	変則		児童委員会 子ども会議
3	金			喫煙防止教室5年
4	土			
5	日			
6	月		てくてくウィーク	個別希望懇談
7	火			学力検査 個別希望懇談
8	水			学力検査 ノーゲームデー 性教育6年
9	木	変則		個別希望懇談
10	金			個別希望懇談
11	土			
12	日			
13	月		自主学習キャンペーン	
14	火			学習発表会(3・4年) 避難予備訓練
15	水			学習発表会(1・2年) 児童朝会
16	木	変則		クラブ(反省) 読み聞かせ(高) 劇団四季配信視聴6年
17	金			学習発表会(5・6年) スクールバス指導 下校指導
18	土			
19	日			
20	月		てくてくウィーク	北海道チャレンジテスト週間
21	火			図書貸出 下校指導
22	水			図書貸出
23	木	変則		学期末清掃 図書貸出
24	金			2学期終業式
25	土			冬季休業(1月16日まで)
26	日			
27	月			
28	火			
29	水			学校閉庁日
30	木			学校閉庁日
31	金			学校閉庁日



楽しかった修学旅行

10日(水)～11日(木)、網走方面へ修学旅行に行ってきました。「サンドブラスト体験」「網走監獄」「オホーツク流氷館」「カーリング体験」「阿寒湖アイヌコタン見学」など、貴重な経験となりました。子ども達は係活動などの役割を果たすなど、責任のある行動をとり、リーダーとして大きく成長した姿を見せてくれました。

「サンドブラスト」では、丁寧に作業を行い、綺麗なガラスの作品を完成させました。

「網走監獄」では、網走監獄の始まりと囚人による開拓の歴史などを学びました。

「オホーツク流氷館」では、濡れたタオルを回し、あっという間にタオルが凍っていくのを体験しました。

「カーリング体験」では、担当の方の話をよく聞きながら、カーリングのルールを理解し、楽しむことができました。

でも、何より楽しかったのは部屋で過ごしたことでないでしょうか？夜遅くまで友達とおしゃべりをして過ごしたことは、最高の思い出になったことでしょうか。

帰りの車内は、いろいろな所から寝息が聞こえ、ぐっすり眠ってしまった人もいました。



白糠駒踊り

2日(火)、4年社会科の学習で「白糠駒踊り保存会」の皆様が来校し、「郷土芸能 白糠駒踊り」を披露してくださいました。

20名以上の方が来校し、100年以上受け継がれ、伝統を守り続けている方々によってダイナミックで力強い踊りを見ることができました。

白糠駒踊りの紹介の部分では、上海万博や台湾で披露されたこともあり、世界に羽ばたく白糠駒踊りとして活躍しています。

白糠駒踊りは若駒の1日を4つの場面で表現しています。「朝、若駒が厩舎から放牧地へ誘導されていく場面」「放牧地に着き、嬉しそうに草を食べる場面」「草を食べ、満足した若駒が生き生きと遊ぶ場面」「夕暮れに若駒が厩舎へと帰っていく場面」です。馬と生活をともにし、馬の生態を知りつくして生まれた表現力豊かな踊りに感銘を受けました。

4年生の感想です。(一部抜粋)

「駒踊りを目の前で見たのは初めてだったのでとても楽しかったです。」日野すみれさん

「着用しているものや楽器などいろいろなものがありびっくりしました。見させてもらい、ありがとうございました。」武田詩織さん

「初めて目の前で見て迫力があり、すごいなと思いました。また見たいなと思いました。」江本心海さん

第2回いじめの把握のためのアンケート調査結果(10月実施)

10月に行った結果です。

質問項目	詳細等
あなたは、今年の4月から今日まで嫌な思いをしたことがありますか。	「嫌な思いをした」と答えた児童31名(仲間外れにされた・何もしないのに蹴られた・注意したら叩かれた)
あなたは、嫌な思いをした時、誰に相談しますか。	「だれにも相談しない」と答えた児童16名(複数回答の中で、○をつけた児童) *昨年は29名
あなたは、「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。	「そう思わない」と答えた児童4名「よくわからない」と答えた児童11名 *昨年は「そう思わない」6名「よくわからない」16名

この調査において「嫌な思いをしたことがある」と回答した児童には速やかに担任による聞き取りを行いました。聞き取り内容によって保護者の方へ報告させていただいています。

一方、学校としましては、「嫌な思いをした時、誰にも相談しない」と答える児童0人を目指します。もしも、自分が嫌な思いをした時、誰にも相談するのではなく、家族、先生、友達、相談機関など、相談方法はたくさんあることを指導していきます。

また、全教育活動を通して命を尊重する教育、差別や偏見をなくす取組に力を入れ、全ての児童が、「いじめはどんな理由があっても許されることではない」と答えることができるよう努めてまいります。

芸術文化鑑賞会

8日(月)に3名の演奏家が来校し、「芸術文化鑑賞会」を開催しました。「ピアノ」「フルート」「三味線」を演奏し、美しい音色を体育館いっぱいに響かせてくれました。

白糠小学校の校歌や民謡、クラシック音楽、ディズニーの曲などを演奏してくださいました。

子ども達が知っている曲もあり、手拍子や拍手に包まれた演奏会となりました。

